



基礎ゼミ 宗教学 [第2版]

大谷 栄一・川又 俊則・猪瀬 優理 [編]

(佛教大学社会学部教授)

(鈴鹿大学こども教育学部教授)

(龍谷大学社会学部教授)

◎ 本書の内容 ◎

はじめに——アクティブラーニングで宗教を学ぶ

第Ⅰ部 「宗教」のイメージをとらえなおそう！

第1章 「宗教」はどのようにイメージされるのか？

——「信仰のない宗教」、宗教情報リテラシー、「宗教」概念(大谷栄一)

第2章 お寺や神社、教会はどういう場所なのか？

——過疎、人口減少社会、ソーシャル・キャピタル(板井正斉)

第3章 社会にとって宗教団体とはどんな存在か？

——宗教法人法、政教分離、宗教団体の社会参加(大澤広嗣)

第Ⅱ部 あなたの身近な宗教体験を分析しよう！

第4章 なぜ「成人式」を行うのだろうか？

——信仰、アイデンティティ、通過儀礼(相澤秀生)

第5章 お祭りにはどんな意味がある？

——祭祀、祝祭、コミュニティ文化(藤本頼生)

第6章 巡礼者は何を求めて聖地に向かうのか？

——聖地、世界遺産、真正性(碧海寿広)

第Ⅲ部 現代宗教の争点を読み解こう！

第7章 いのちを教えることができるのか？

——寛容の態度、宗教文化教育、教科としての道徳(川又俊則)

第8章 「女人禁制」はつづけるべきか？

——霊山、ジェンダー、家父長制(小林奈央子)

第9章 「カルト問題」にどう向きあうか？

——カルト、偽装勧誘、マインド・コントロール(塚田穂高)

第Ⅳ部 宗教から多文化主義を考えてみよう！

第10章 公共領域から(どれだけ)宗教を排除すべきか？

——政教分離、世俗主義、市民宗教(藤本龍児)

第11章 ヴェールはなぜ問題となるのか？

——オリエンタリズム、ポストコロニアル、フェミニズム(猪瀬優理)

第12章 日本社会は移民とどう向きあうのか？

——入国管理法、多文化共生、エスニシティ(白波瀬達也)

第Ⅴ部 死を見つめなおすために

第13章 なぜ墓参りをするのか？

——先祖／祖先、葬後儀礼、両墓制(川又俊則)

第14章 戦没者をどこで追悼する？

——靖国問題、「戦争の記憶」、メモレイション(大谷栄一)

第15章 被災者は宗教に何を求めるか？

——「心のケア」、臨床宗教師、霊性(黒崎浩行)

引用文献一覧／紹介動画一覧／ワークシート／索引

アクティブラーニングで宗教を学ぼう！

- 仲間と議論して多様な考え方を学ぶ
- ワークシートを使って考えを整理する
- 宗教情報リテラシーを身につける
- 宗教現象に対して自分なりの意見を言う



祭りや墓参りなどの身近な宗教体験から、宗教による被災者支援や政教分離まで、アクティブラーニングで学べる好評入門書の改訂版。資料を読み、仲間と議論し、自分の意見をワークシートに整理することを通じて、宗教情報リテラシーを身につける。

■ トーハン、日販、楽天ブックスネットワーク、子どもの文化普及協会 経由にてお送りいたします。
トーハン、日販、楽天ブックスネットワークの場合、返品はフリーでお受けいたします。(了解者：朝加)

『基礎ゼミ 宗教学 [第2版]』 大谷栄一・川又俊則・猪瀬優理 編		書店印
定価 2,090円 (10%税込) 2024年4月刊行 A 5判・並製/196頁 ISBN978-4-7907-1792-8		
お名前	ご注文冊数	冊
 世界思想社		〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56 電話：075-721-6500 FAX：075-721-8707